

先進技術を導入する上での課題・留意点

情報共有に関するもの

- 事業所の保有データ（取扱い物質・作業工程・図面・点検データ等）を共有する際、企業の秘密を害しないためのルール作り、セキュリティの確保が必要
- 災害時だけ使うようなデバイスやシステムでなく、普段から使うものでなければ普及しない
- 情報共有プラットフォームの持続性のある運営が求められる

AIの活用に関するもの

- データが少ないものは機械学習ができない
- 言葉の意図など、あいまいな要素が含まれるものの理解が困難
- 災害の全体像を踏まえた戦術の提案など、定量化しにくい判断が困難

費用対効果に関するもの

- 先進技術の導入という手段が目的になってはならず、技術の導入により、大幅にコストダウンした、省力化された、これまでできなかったことができたという成果を得ることが必要
- 事業者には何かの導入を促したい場合、例えば規制上のインセンティブを与えることも考えられる

将来的に開発の必要があるもの

- 高温、有毒ガス存在下等の過酷な環境において自律的に消火、救助、応急措置を行うロボット
- 地震を検知すると、自動的に離陸、事業所全体の点検を行い、施設の異常を発見するなど自律的な運行ができるドローン
- 防爆型で低コストかつ操作性の良い機器
- 災害に強い電力供給、ネットワーク環境